

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

広島県地域セミナー 報告書

2020（令和2）年8月31日（月）に、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県地域セミナーが、下記の要領で開催されました。

【開催概要】

日時：2020（令和2）年8月31日（月）13時30分～16時30分

会場：オンライン（Zoom）

主催：広島県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：46名（推進校担当者39名、教育事務所・市町教育委員会7名）

プログラム：

13:30～13:35 開会挨拶

広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課 学校体育係

係長 光橋 健 氏

13:35～13:55 説明「新学習指導要領におけるオリンピック・パラリンピック教育」

広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課 学校体育係

指導主事 在津 文博 氏

13:55～14:10 説明「オリンピック・パラリンピック教育について」

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

14:10～14:20 質疑応答等

14:20～14:30 休憩

14:30～15:30 講演「ブラインドランナーとガイドランナーの関係」

堀内 規生 氏

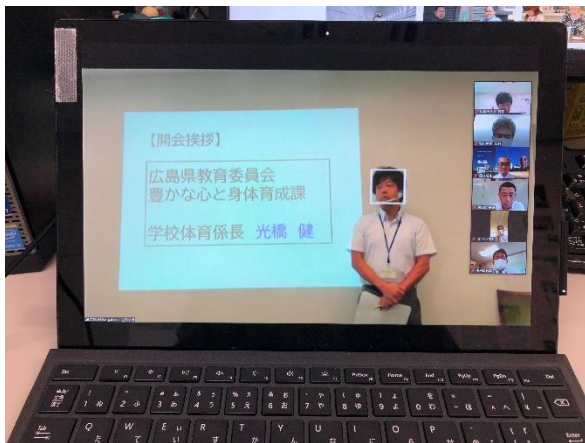
（女子マラソン視覚障害・伴走／パラ・リオデジャネイロ大会）

15:30～15:40 休憩

15:40～16:20 協議・演習「オリンピック・パラリンピック教育の成果と課題」

16:20～16:30 閉会挨拶

開会行事では、広島県教育委員会事務局の光橋氏より挨拶がありました。光橋氏からは、推進校への感謝の言葉とともに、これまでの広島県の取り組みや広島県において当初から本事業のねらいとしてきた「体育授業の質的向上」について説明されるとともに、今年度の本事業への期待についてお話されました。



光橋氏

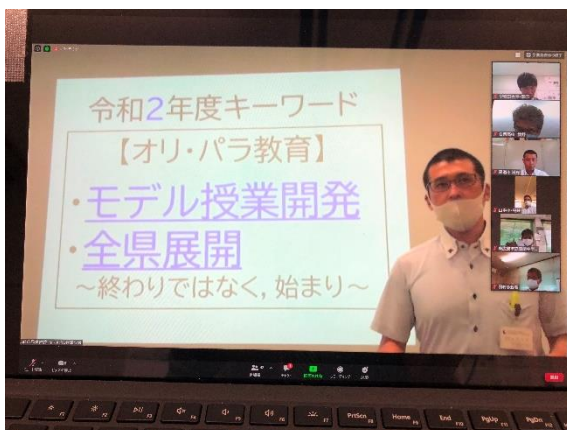


参加者の様子

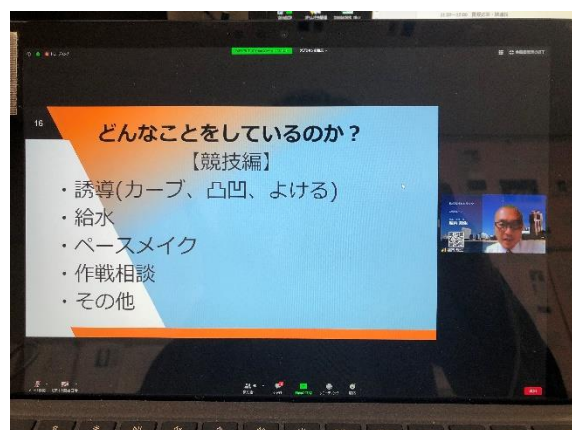
次に、広島県教育委員会事務局の在津氏から、広島県におけるオリ・パラ教育の推進の方向性について説明がありました。まず冒頭で、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から学校の教育活動をこれまで通り行うことが困難な中だからこそ「挑戦」することを大切にしていきたい、と本事業への抱負を述べられました。さらに、これまでの広島県におけるオリ・パラ教育の取り組み、特に「アスリートによる講演」と「事前・事後指導」の充実を継続するとともに、オンラインの活用など、今年度の新たな取り組みの方向性について説明がありました。続いて、本センターの深見副センター長による挨拶の後、岡田研究員より、本事業の概要やオリ・パラ教育の実践計画立案の方法、さらには実践事例や教材の紹介が行われました。

10分の休憩後、パラリンピック・リオデジャネイロ大会で銀メダルを獲得した道下美里選手の伴走を行った堀内規生氏の講演が行われました。堀内氏がパラ陸上の伴走を始めた経緯、道下選手の伴走を行う際の困難や銀メダルを獲得したときの気持ち等について、動画も見せながらお話されました。

さらに、10分の休憩後、参加者を8つのグループに分けて教育事務所・市町教育委員会の方を中心にグループワークを行いました。各グループでは、これまでのオリ・パラ教育の取り組みを振り返りながら、今年度の方針について検討が行われました。



在津氏



堀内氏